

平成27年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	特定非営利活動法人 人・ふれあい・ひろば (担当者 藤井弥生)			
	合同実施団体 (*協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	発達障害者支援センター		電話	086-236-0051
	担当者 2名	職名	所長	職名	所長補佐
	氏名	横畑 一		氏名	片山 孝保
事業の名称	発達障害等で悩んでいる方に対して、寄り添える人材の養成事業				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>課 題</p> <p>発達障害等で悩んでいる人に声を掛け、話を聞くことができる人が特定されていません。当事者・家庭は、社会適応不全、社会的孤立状況にある場合が多いという実情があります。</p> <p>上記の方々に、身近、で寄り添い話しができる人を増やす必要があります。</p> <p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座修了者7名。 ・他事業所との連携により、他事業所でも、寄り添える人材としての意識を高めることが出来ました。 ・寄り添う人が必要であることの周知が図られました。(相談座談会・講演会等) 				
市と協働した内容と協働の効果	<p>協働した内容</p> <p>発達障害等で悩んでいる方に対して、寄り添える人材の養成</p> <p>どんな人材なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩んだその時に、身近で相談できる人 ・小・中学校での環境設定の為、話し合いを上手に導くことのできる人 ・障害特性を認識してない方にむけての、意識を変える話ができる人 <p>アプローチした人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる人の話を聞くことができるとしても、言い出せない人 ・自分の経験を話すことができれば、とっと思っても、話しかけにくいと感じている人 ・アドバイスはできそうだけれど、タイミングが難しいと感じている人 <p>◎具体適方法として「寄り添える人材の養成講座」の開催</p> <p>「自分の隣で、常時受け入れ態勢を持って存在する人」として「寄り添える人」と位置付け、この人材を養成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートができる環境をつくる。相談座談会。 ・サポートできる人を増やし、対応可能な状況を広げる。人材開拓。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・寄り添える人材としての認識と技術を身に付けてもらう。養成事業。 ・自分の経験を、サポートの声掛けに変換できるよう勉強する。養成事業。 (添付書類・参加者各人の纏め) <p>協働の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協働」と言う事で、当事者様に、安心感と随時対応を提供することが出来ております。 <ul style="list-style-type: none"> ◎『寄り添える人材』を養成・広報したことにより、心の距離感を感じることなく、身近で相談できる人がいることが関係者に周知されるようになり、広範囲に対応が可能となっています。 ◎親がより前向きな気持ちで対応できたことにより、子どもの安定、学校生活の安定、社会的安定に繋がった人が増えてきています。 ・養成講座参加者は、相談座談会において適切な発言が増加し、個人的に相談された事例についてもライン等で、助言すべき内容について話し合われております。 <ul style="list-style-type: none"> ◎養成された方は、各個人での相談事例が増えております。 ◎悩んでいる状況では社会的混乱状況を招いてしまいますが、考え・行動できる親となるよう寄り添うことにより、社会状況改善に繋がった方が多く居られます。 (添付書類・参加者さんの声) <p>団体が果たした内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回(15時間)の養成講座の企画・運営しました。 ・相談座談会を開催し、実地トレーニングを行いました。 ・相談座談会のボランティアスタッフの中から支援者になれる方ができました。 ・今後継続的に支援者が活用できる手引きを作成しました。 <p>岡山市の担当課等が果たした内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者支援センター専門職員による講座内容等への専門的な指導やアドバイス。 ・養成講座受講生募集における周知・広報。 ・専門機関や他の行政機関への働きかけ。 ・提案団体に対するコンサルテーション等により専門的サポート。 ・支援者のさらなるステップアップのための研修会を開催。
<p style="text-align: center;">事業の内容</p>	<p>『寄り添える人材』の養成</p> <p>(1) 養成講座の開催(各5時間)</p> <p>5月16日(土曜日) 10:00~15:00</p> <p>9月19日(土曜日) 10:00~15:00</p> <p>2月20日(土曜日) 10:00~15:00</p> <p>(2) 相談座談会に参加し、受講生は現場で、体験的・継続的な支援の仕方を学びました(OJT) 養成者1人につき、1ヶ月3回×10人×11か月(5月から3月)</p> <p>(3) 継続的な人材育成をめざし、「寄り添う人のための手引き」1冊を作成しました。 (当初予定3冊を1冊に纏めて発行した)</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <p style="text-align: center;">『相談を受ける』 『聞く・聴く・訊く』『家庭療育』</p>
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 NPO法人 人・ふれあい・ひろば 理事長 藤井弥生 2. 個別事業責任者 NPO法人 人・ふれあい・ひろば 理事長 藤井弥生 3. その他事業従事者 役割・氏名

事業実施経過	月 日	実施内容
	通年	通年で毎月6回、地域公民館で相談会(受講生のOJT)を実施。
	5月	○16日 第1回『寄り添える人材』養成講座(10人) △相談会の開催(5回)
	6月	△相談会の開催(6回)
	7月	△相談会の開催(6回)
	8月	△相談会の開催(6回)
	9月	○19日 第2回『寄り添える人材』養成講座(9人) △相談会の開催(6回)
	10月	△相談会の開催(6回)
	11月	△相談会の開催(5回)
	12月	△相談会の開催(7回) (内1回、佐藤暁教授を招いて開催)
	1月	△相談会の開催(6回) □『聞く・聴く・訊く』コミュニケーションの手引き作成 □『家庭療育』の為の手引き作成 □『相談を受ける』為の手引き作成
	2月	○20日 第3回『寄り添える人材』養成講座(7人) △相談会の開催(6回) 24日 冊子印刷発注(瀬戸高等支援学校) 28日 岡山市内児童発達支援事業所に招かれて相談座談会開催
	3月	△相談会の開催(6回) ◇まとめ
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(今回参加人材の更なるスキルアップを、様々な機関と連携を持ちながら進めていきます。後進の育成・現行支援者さんへの声掛け等も含め、多面的に取り組んでいきます。) <hr/> 具体的な計画があれば記載してください。	

平成27年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	発達障害等で悩んでいる方に対して、寄り添える人材の養成事業
------------	-------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	169,447	会費収入
	その他	0	
自己資金等合計(a)		169,447	
事業収入		78,000	受講料 3,000円×10人=30,000円 3,000円×9人=27,000円 3,000円×7人=21,000円
事業収入合計(b)		78,000	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		953,000	
収入合計(e)=(a)+(b)+(c)+(d)		1,200,447	

<支 出>

費 目		金 額	内 訳
事業 実施 経費	講師謝礼金	130,000	講座講師：30,000円×3回=90,000円 手引き作成研修講師代金（12月、1月） 1ヶ月20,000円×2=40,000円
	報酬	614,400	・OJT指導者報酬 （1日2人体制の個別指導） 時給1,000円×195時間×2人 =390,000円 ・事務日当 時給850円×264時間=224,400円
	交通費	130,000	OJT指導者交通費 1回1,000円×65回×2人 =130,000円
	通信費	194,377	携帯2台代金
	印刷製本費	47,200	手引き作成 50ページ×100冊 ファイル代162円×100=16,200円 PC出力・カラーコピー代 15,000円 インク代4,000円×4=16,000円
消耗品費	84,470	専門書籍・タブレット・用紙等 別紙	
事業実施経費合計（f）		1,200,447	
管理 運営 経費			
管理運営費合計（g）		0	
総事業費（h）＝（f）＋（g）		1,200,447	

- （添付書類） 1. 領収書等支払を証する資料は費目ごとに分けて写しを添付してください。
2. 高額となる経費については、印刷した現物や証拠写真などを添付してください。